

入院診療計画書 11-0010

全麻下上顎洞篩骨洞蝶形洞根治術・下鼻甲介切除術・鼻中隔矯正術・鼻茸切除術・鼻内篩骨洞開放術 を受けられる患者さま

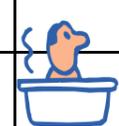
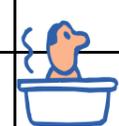
主治医署名 : \_\_\_\_\_ (印)

説明者署名 : \_\_\_\_\_ ( 説明日 : / )

患者氏名 : \_\_\_\_\_ 様 ( ID : \_\_\_\_\_ ) ( 病棟、病室 : \_\_\_\_\_ 病棟 \_\_\_\_\_ 号室 )

本人 または 家族署名 : \_\_\_\_\_ ( 続柄 : \_\_\_\_\_ )

病名		症状	
推定入院期間	日程度	特別な栄養管理	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

月日(日時)	1日目( / )	2日目( / )	3日目( / )	4日目( / )	5日目( / )	6日目( / )	7~8日目( / )	9日目( / )
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4日	退院
達成目標	精神的、身体的に問題なく手術が行なう事ができる		術後合併症無く経過できる				不安なく退院する事ができる	
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	・14時に入院支援室へお越しください ・休日は14時頃救患部にお越しください	朝8:30より外来で処置があります。看護師が呼びますのでお部屋でお待ちください	手術前から点滴を行いません。	抗生剤の点滴があります。手術のあと点滴を朝まで行なう事もあります。毎日8:30頃より外来で診察があります。朝看護師が呼びますのでお部屋でお待ちください		点滴終了となります。夕方の点滴終了後抜針いたします		朝の診察後退院となります 次回受診日は1週間後を目安に主治医と相談します
処置	・平日入院時は夕方麻酔科からの説明があります				手術後2日目・3日目に鼻のタンポンガーゼを抜く予定です。朝痛み止めをします。			次回受診は予約票を持って直接外来へお越しください
検査	・必要に応じて歯科受診がある場合があります							
活動安静度	制限ありません		ベッド上安静です	病棟内歩行可能です		出血無ければ制限はありません		
食事	常食または治療食です	朝より絶食です	手術当日は絶食です	全粥食です	常食または治療食です			
栄養管理	入院時に、医師・看護師・管理栄養士によって、栄養状態を評価し、必要に応じて入院栄養指導を行います。							
清潔	シャワー浴を17時までにおこなってください		シャワー浴などはできません	清拭となります		出血無ければシャワー浴できます	★退院指導★	
排泄	制限ありません		看護師より説明があります	術後問題なければトイレに行けます	トイレ歩行可能です。			☆熱すぎるお風呂は避けましょう ☆刺激の強い香辛料は避けましょう ☆風邪を引かないように心がけましょう ☆出血が無ければ日常生活は普通に行えます ☆仕事や学校も激しい運動などは避けましょう ☆術後1週間は創のかさぶたがとれ出血する事があります。出血時は氷水・オキシドール液でうがいを行なってください ☆強い痛みの出現や発熱の持続、出血が続くようであれば早めに受診しましょう
患者様及びご家族への説明生活指導栄養指導服薬指導	現在与薬されている内服薬は全て持参ください。何かお気づきな事がございましたら看護師にお声をかけてください。	☆手術後主治医より説明があります ☆鼻をかまないようにしてください ☆綿球が汚れたら交換を行なってください ☆手術の後飲水・飲食の説明を行ないます ☆また初回歩行時は看護師が付き添いますのでお声をかけてください ☆必要時、鎮痛剤を使用できます	うがい液が処方されます 1日3~4回程度うがいを心がけましょう	☆タンポンガーゼを抜去した後は出血しやすいのでできれば安静にしてください ☆鼻づまりがありますが出血しやすいので強く鼻をかまないようにしましょう				

注1 入院期間については現時点で予想される期間です。今後、状態の変化等に応じて変更になる場合もあります。

ご不明な点は遠慮なくお聞きください。

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 耳鼻咽喉科

2013 年 9 月作成